

過去問の傾向と予想 (各問の上を書いてある点数は一般的な目標得点です)

回次	2問	3問	4問	5問	合格率	必要仕訳正答	開催月
133	14点 伝票→元帳→仕訳日計表 ボリュームが多いので12点でよし	14点 本支店会計 損益計算書は確実に取る 本支店の各利益や支店は×	18点 本社工場会計 本店側と支店側だが簡単	16点 個別の仕掛品勘定と売上原価 計算 仕掛品勘定はとろう	47.6%	3問	2
134	10点 銀行勘定調整表 現金は少し難しいが当座預金関連は比較的簡単	14点 精算表 売上原価a/c迷うかもしれませんが、他は比較的簡単	16点 C/R・P/L 差異がらみで4点失点までは可	12点 直接原価計算 第2期は少し難しいが、第1期関連は比較的簡単	13.9%	5問	6
135	9点/18点 減価償却費 建物と減価償却費は確実にとろう	16点/22点 精算表	12点 部門配賦表 やはり差異がキーか	16点 標準原価計算だが、製造間接費だけ問われたので厳しかったか 全経1級してればOKだった	22.5%	2問	11
136	16点 伝票→元帳→仕訳日計表 シンプル満点も狙えた	18点 本支店会計 非常にシンプルな問題 満点も	16点 費目別の仕訳 差異外しても16点	10点 直接原価計算 132回と134回の過去問しっかりしていれば予定配賦以外はいけるはずだが...	41.6%	3問	2
137	16点 銀行勘定調整表 134回よりも簡単 準備できていたはず	14点 損益計算書 利息や減価償却は難しいが部分点は狙える	16点 C/R・仕掛品a/c やはり差異の扱いだけ	16点 組別総合原価計算 P/Lで失点しても、減損もないので16点はいける	34.6%	2問	6
138	12点 株主資本等変動計算書 仕訳は簡単、一度でも見ておけば	12点 貸借対照表 月次処理や前払い費用、返品未処理など難解な問題多かった	16点 個別原価計算の仕訳 製造番号3つなので簡単 1-4は確実にとろう	16点 単純総合原価計算 本当は満点といたい ただ、2,3問で慌てていると失点しそう(仕損の取扱い)	26.4%	3問	11
139	14点 固定資産 簡単な問題、落としても問6と記帳だけ	14点 貸借対照表+各利益の算定	18点 部門別原価計算 予定配賦と差異分析を押さえれば絶対に解け	18点 直接原価計算(CVP分析) 非常にシンプルな問題。できれば満点欲しい	21.8%	3問	2
140	20点 伝票 非常に簡単な伝票問題です。確実に満点が欲しいところです	12点 損益計算書 ここ最近と同様、問われ方が難しくなっており、月次などの実務を意識した内容が増えています。ただ、138,139回を復習すれば取れる問題もあるので、取捨選択が大事です	18点 標準原価計算 本来は満点と書きたいところですが、最後の利益を失点しても18点は取れますね	20点 等級別総合原価計算 過去問の復習で十分に満点が取れる問題でした。	34.5%	0問	6
141	10点 有価証券 基本的な論点だが、金額の大きさや帳簿転記に戸惑った受験生が多かったようです	16点 精算表 138~140回に比べて非常にやさしい問題。満点も狙えた内容	16点 本社工場会計 (5)の製品への振替の表現に戸惑うが、(1)から(4)は楽	20点 CVP分析 テキストの基本問題レベル 10分程度で満点を取りたい	11.8%	2問	11
142	10点 株主資本等変動計算書 問われ方が特徴的なので戸惑った受験生は多かったでしょう	14点 貸借対照表 138~140回の難易度に戻った感じです。ただその3回分を実施していれば14点は確保できた筈	16点 標準原価計算 差異分析と記帳の基本的な問題 これは満点が欲しい問題	16点 工程別総合原価計算 これも基本的な問題。満点が欲しい問題	14.8%	4問	2
143	10点 固定資産 本試験では台帳部分是对応難しかったはず。前半部分で10点確保	16点 損益計算書	16点 個別原価計算→月次PL 差異分析	16点 標準原価計算 差異分析中心(一部帳簿価額)	25.8%	3問	6
144	10 売上処理一連	16 精算表 的中	18 個別原価計算勘定記入 的中	18 単純総合原価計算 的中	13.4%	2問	2
145	株主資本等変動計算書	貸借対照表 的中	部門別原価計算 的中	全部原価計算と直接原価計算 的中	25.0%		
146	銀行勘定調整表 的中	精算表 的中	標準原価計算 的中	単純総合原価計算(仕損) 的中	47.5%		

<147回予想> CMCは3点予想にこだわります

	2問	3問	4問	5問
本命	消費税と法人税の一連の流れ (実務ワンポイント動画)税抜と 税込の振替仕訳注	損益計算書&株主資本等計算 書 (各利益押さえる) (固定資産・リース・圧縮は注 意)	各費目別の仕訳(予定配賦)136 タイプ:元帳転記も押さえておこう	CVP分析
目標点	18点	14点	16点	16点
該当 講座	フリテ10回 実務ワンポイント 新論点#2-2	解答速報140(3問) 解答速報138(2問)	フリテ02回 フリテ03回 フリテ04回 解答速報136回4問	フリテ14回
対抗	有価証券(各論点) 子会社株式の関係で連結仕訳 も押さえておこう	サービス業の本支店会計(本店 または支店単独)(複数支店で も、すべき事は同じ)	本社工場会計(仕訳)	標準原価計算(差異分析)
目標点	14点	14点	12点	16点
該当 講座	新論点#1-2(関係会社株式) 新論点#1-3(その他有価証券)	フリテ14回 新論点#1-1(本支店) 新論点#1-3(実務)	フリテ12回 解答速報141回(4問)	フリテ13回 フリテ13-2回 フリテ99(特別編)
大穴	手形+電子記録債権の複合問 題	貸借対照表+最後に追加問題 で連結仕訳	個別原価計算(138タイプで仕 掛品と製品の勘定記入の問題)	工程別等級別総合原価計算 (追加材料・仕損・半製品と副産 物は確認しておこう)
目標点	14点	14点	18点	14点
該当 講座	フリテ1回 新論点#1-2	新論点#3(連結編)	解答速報141(4問)	フリテ08回 フリテ10回

仕訳は、新論点は基本
問題程度

昨年度の既出新論点は
サンプル問題レベルを確
認しておこう

サンプル問題
5:リース
13、14:有価証券
(税効果は必要なし)

は必ず実施しておこう

仕訳は過去10回分

第2問は、複雑な問題で8
~10点を短時間で解く方
法を確認する

第3問は、137回以降の
棚卸と減価償却等を確
認しておこう

「予想の下の動画はすべて無料で視聴できます」↑

<出題の意図><2級受験のポイント>を踏まえて

4問・5問で最低80%を取ろう→今後もこの傾向はかわらないという事
特に第4問の予定配賦をしっかり押さえておくことが、標準原価計算にもつながるので大事です。

次に日商の許容勘定科目表を1回はみておき、気になる科目はネットで検索しておきましょう。
それだけでも、当日の科目をみてもパニックにならずにすみます。

試験対策ですが、本来は予想に頼らず、全範囲の論点をしっかり押さえる事が先決です。あまり時間はありませんが、商工会議所が公表しているサンプル問題は実施しておく方が良いでしょう。サンプル問題3(理論問題)は必ず確
認しておいて下さい。商業簿記に関しては過去問5回分をしっかりと実施しましょう。商業簿記は過去問からの出題が多く、新論点以外でも70%は確保できるはず。上記の2問、3問対策をしっかり実施すれば、商業簿記全般(仕
含む)の得点をUPする事ができます。
連結会計はサンプル問題9を題材にフリーテキスト講座(約3時間)見ておいて下さい。今回はそれで十分だと思います。

新論点に関しては、第1問から3問のいずれでも問われる可能性があります。難問は可否には影響しないので早めに捨てる決断が大事です。

第3問で本支店会計の本店のみ・支店のみ損益勘定作成などが出題されたら、通常の決算整理仕訳と転記だけで12~14点は取れます。見慣れない問題であせるのではなく、とにかく仕訳をしっかり行って転記できる所を転記
するのが大事です。ただ本支店会計は仕訳問題レベルになる可能性が高いと思われます。場合によっては2問で本支店の流れを問う問題の出題可能性もありえると考えられます。テキストなどで一連の流れを押さえておいて下さい。